

## 財政健全化指標関係 実質赤字比率・連結実質赤字比率の状況

### 【実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分	会計名称	実質収支額			摘要
		平成23年度	平成22年度	増減	
一般会計等	一般会計 A	579,546	775,563	196,017	形式収支 - 繰越財源
標準財政規模		20,768,885	20,926,509	157,624	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
<b>実質赤字比率</b>		<b>2.79%</b>	<b>3.70%</b>	<b>0.91ポイント</b>	<b>黒字の場合は、マイナス表示</b>

### 【連結実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分	会計名称	実質収支額(資金不足・剰余金)			摘要	
		平成23年度	平成22年度	増減		
一般会計等以外の特別会計のうち公営企業会計を除く	国民健康保険事業	183,608	159,192	24,416	形式収支 - 繰越財源	
	国民健康保険直営診療所事業	6,409	8,698	2,289		
	介護保険事業	58,513	13,952	44,561		
	後期高齢者医療事業	5,759	5,860	101		
	老人保健事業	0	0	0		
	介護サービス事業	7,766	34,511	26,745		
	計 B	262,055	222,213	39,842		
公営企業会計	法適用	水道事業会計	1,026,182	913,168	113,014	流動資産 - (流動負債+算入地方債) (資金不足の場合、解消可能資金不足額があれば控除可能) 病院事業会計は、病院特例債及び過疎地域自立促進特別事業債(657,165千円)分を資金不足額より控除 算入地方債・・・建設改良費、準建設改良費以外の経費に充てるために起した地方債の残高
		病院事業会計	0	0	0	
		計 C	1,026,182	913,168	113,014	
	法非適用	簡易水道事業	74,074	57,770	16,304	形式収支 - 繰越財源 (赤字の場合、解消可能資金不足があれば控除可能)  (形式収支 - 繰越財源) + 土地収入見込額 - 市債残高 ただし造成中の用地造成事業は算定対象外。又当該会計の決算額が黒字の場合には、市債残高を算入した結果が赤字であっても「0」となる。
		集落排水事業	11,442	16,636	5,194	
		公共下水道事業	35,947	59,708	23,761	
		浄化槽整備事業	11,961	6,444	5,517	
		工業用地造成事業	0	0	0	
		宅地造成事業	48,123	42,753	5,370	
	計 D	181,547	183,311	1,764		
計(B+C+D)		1,469,784	1,318,692	151,092		
合計(A+B+C+D)		2,049,330	2,094,255	44,925		
標準財政規模		20,768,885	20,926,509	157,624	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額	
<b>連結実質赤字比率</b>		<b>9.86%</b>	<b>10.00%</b>	<b>0.14ポイント</b>	<b>黒字の場合は、マイナス表示</b>	